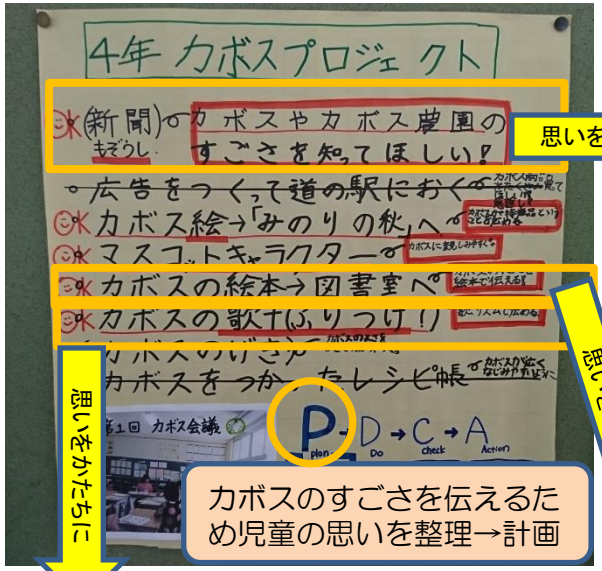
児童の主体的で探究的な活動が位置付いた総合的な学習の時間の取組

平成30年度　新田小学校4年生　担任：岩男教諭

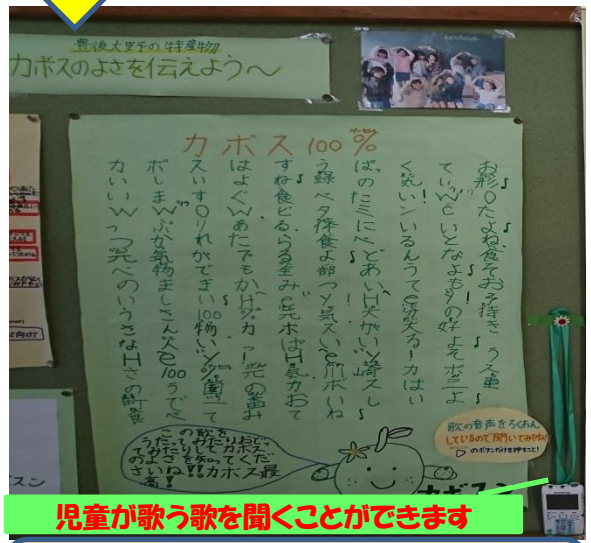


カボスのすごさを伝えるため児童の思いを整理→計画

思いをかたちに

川崎カボス農園へ出かけ取材
・生産者の思いを知る　・疑問について質問

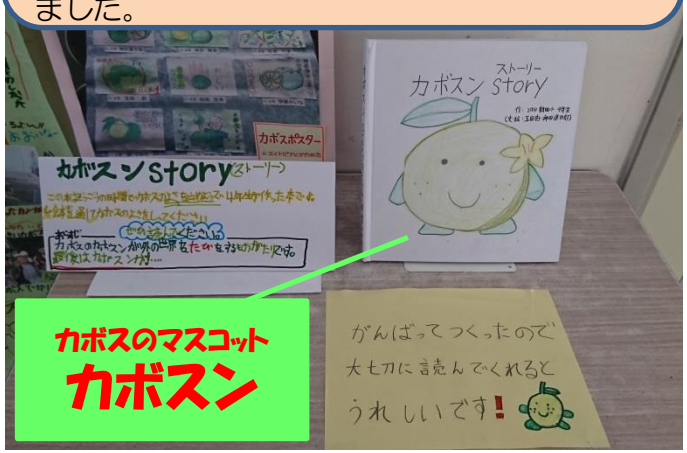
思いをかたちに

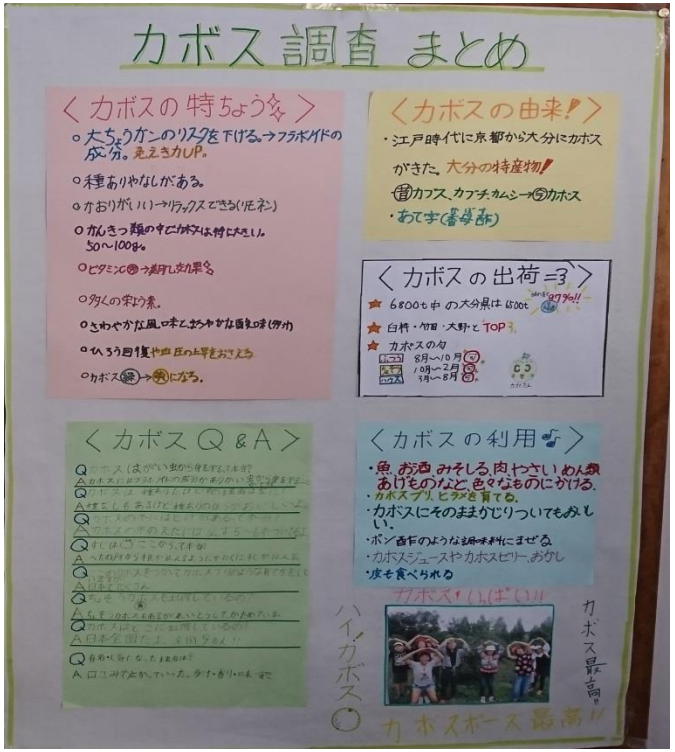


児童が歌う歌を聞くことができます

カボスのすごさを伝えるため
オリジナルの歌とそれをイメージした**振り付け**を考えました。

カボスのすごさを伝えるため、絵本を制作しました。調べ学習からわかったカボスの効能を盛り込んだ、オリジナルのストーリーです。
絵や文字も児童が手書きで製作しており、
世界に1冊の素晴らしい絵本ができあがりました。





地域の特産物であるカボスやカボス農園のすごさを、もっと多くの人に伝えたいという児童の思いを大切にしながら、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の学習過程がきちんと位置づいた、総合的な学習の時間の取組が行われていました。
児童自らが設定した探究課題に、互いのよさを生かしながら、主体的・協働的に取り組んでいる様子がうかがえました。